7. 便所

（1）便器

◎紙は必ず「トイレットペーパー」を使用し、多量のトイレットペーパーを一度に流さないようご注意ください（排水管の詰まりの原因になります。）。

◎硬い紙、新聞紙、ティッシュペーパー、脱脂綿、ゴム製品、布切、紙おむつ、生理用品などは、便器内に捨てないでください（排水管の詰まりの原因になります。）。

◎ぞうきん水、洗濯水、その他雑物の混じった水や、塩酸、殺虫剤などの薬品は便器内に流さないでください。

また、清掃中のタワシやぞうきんを誤って流すと排水管が詰まり便器の使用ができなくなりますので十分ご注意ください。

◎洗浄芳香剤などをロータンク内に入れる場合、内部金物が動き、水が止まらなくなることもありますので十分ご注意ください。

◆便器内の汚物が流れないとき◆

排水管が詰まってあふれたときは、上階の方に使用しないように連絡してから復旧作業または修理業者の手配等を行ってください。

UR 都市機構の小修理を実施している工事業者による修理を希望される場合には、管理サービス事務所または住まいセンター等にお尋ねください。

◆便器、ロータンク廻りの床が濡れているとき◆

トイレの床が濡れているときは、排水管が詰まっている又は給水管から水が漏れている場合も考えられますが、ロータンクや便器に結露した水が床に滴り落ちて床を濡らしている場合もあります。床の濡れ具合が軽微であれば、まずは床の濡れた部分とロータンクや便器の外周の結露した部分を雑巾等でふき取って、水漏れの有無のご確認をお願いします。

◆掃除の仕方◆

◎便所の床は防水してありませんので、床に水を流すと階下に漏れます。ふき取るように掃除をしてください。

◎便器および手洗器の内側は、中性洗剤等を洗浄用スポンジにつけて磨くように洗いましょう（塩酸などは使わないようにしてください。）。

◎陶器類の外側の腰壁、床などは、固く絞った雑巾等を使ってふいてください。

◎便器と便座はその材質が異なっております。そのため、掃除の際に使う洗剤もその材質により異なってきます。

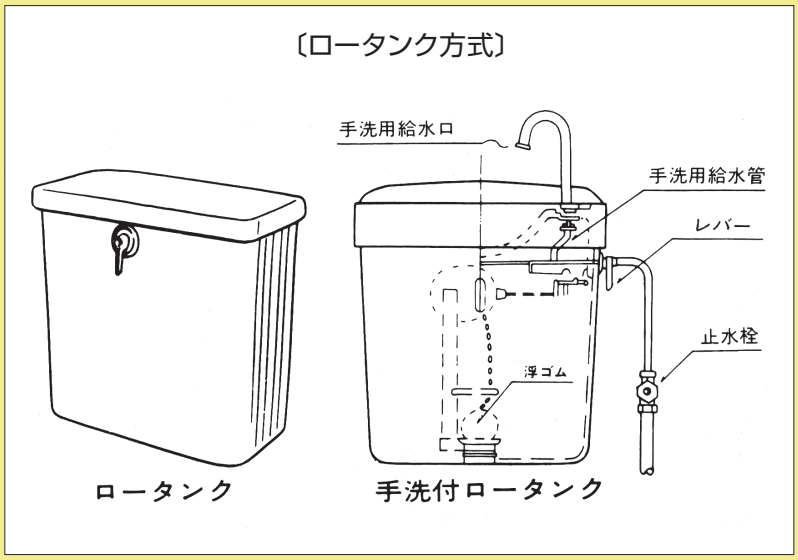
◎金物類は乾いた布でふいてください。

◎便所内の換気・通風に注意し、風通しをよくしましょう。便器と床の境目は特に湿っぽく、板床の場合は、腐食の原因にもなりますので、水気をよくふき取るようにしましょう。

◆異常時の措置（水が止まらないとき。）◆

ロータンク方式の場合

止水栓（ハンドルまたはドライバー方式）を右に回して締めつけると給水は止まります。それでも止まらないときは、メーターボックス内の止水栓のハンドルを右に回すと住宅内の全ての給水が止まります。（79ページ参照）



（2）便所のドア

便所の出入口に内締錠（うちじまり）がついている住宅があります。

取扱い上の注意事項については 75 ページ「浴室のドア」を参照してください。

内締錠（うちじまり）付きドア（押しボタン式空錠）

便所内側

便所外側

（3）温水洗浄便座

一部の住宅には、温水洗浄便座が設置されています。

使用方法やお手入れ、点検等については、取扱説明書をよくお読みください。

なお、便座に異常な発熱があったり、電源コードや電源プラグに変形、変色、損傷等の異常を確認された場合には、ただちに電源プラグを抜いて、ご使用を中止し、管理サービス事務所または住まいセンター等にお知らせください。